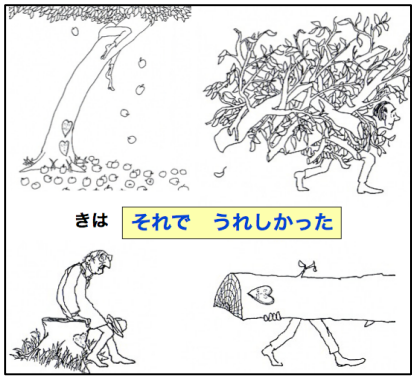
第5学年　道徳学習指導案

指導者　平生町立平生小学校　教諭　温品　賢二

1　**主題名**　大切なあなた　（4-(5)　家族愛を切り口に「愛」する心を見つめる）
2　**資料名**「おおきな木（The Giving Tree)」　シェル・シルヴァスタイン）
3　**ねらい**　男に与えつづける木の気持ち「木はそれでうれしかった」を追求する活動を通して、家族から自分に注がれている愛情に気づき、自分や自分にかかわる人を大切にしていこうとする心情を養う。
4　**準　備**　電子紙芝居（スライドショー）　センテンスカード　ワークシート
5　**学習の展開**

学習活動・学習内容	予想される児童の反応	教師の支援
1　自分にとって大切だと感じる人を思い浮かべ、ワークシートに記入する。 ・ 自分と大切な人とのかかわり ・ 大切だと感じる理由	○ 大切な人・・・やっぱりお母さんかな。 ○ おじいちゃんやおばあちゃんの顔が浮かぶよ。 ○ 兄弟も大事だなあ。	◎ 自分にとって大切な人を3人、ワークシートに具体的に記入させることで、自分と大切な人との関係性について目を向けさせる。
自分に注がれているたくさんの愛情を感じ取ろう。		
2　電子紙芝居「おおきな木」を視聴し、男と木の関係について話し合う。  ※挿絵:「おおきな木(The Giving Tree)」ｼｪﾙ・ｼﾙｳﾞｧｽﾀｲﾝ,篠崎書林,1976 年引用 ・ 男の行動に対する木の気持ち ・ 与え続ける木の愛情 ・ 男の行動に対する自分の気持ち	○ 木は悲しくないのかな・・・。 ○ なぜ、木はうれしいのだろう。 ○ 男が幸せならばそれが木の幸せなのかな。 ○ ただただ大好きなんだよ。 ○ 大好きな人が幸せなら自分もうれしくなる気持ち分かる気がするよ。 ○ 木の優しさは分かるけど、男にももっと木に優しくなってほしいな。 ○ 木を大切にしてほしいよ。	◎ 絵本をデジタル化し資料提示することで、資料への関心を高める。 ◎ 「木は［　　］」をキーセンテンスにして、□の中の言葉を自分なりに表現させることで、男と木の関係性について考えさせる。また、「木は［それでうれしかった］」という言葉を手がかりに、木の愛情の深さについて考えさせる。 ◎ 木の愛情に少しでも答えられるよう男にアドバイスを送らせることで自分の中にある愛情や思いやりの心に目を向けさせる。
3　自分と自分の大切な人とのかかわりについて振り返る。 ・ 家族から注がれる自分への愛情 ・ 家族を大切に思う自分の愛情 ・ 愛されていることの喜び ・ 愛情に答えたいと思う心	○ 自分の家族は、自分のことをあの木のように大切に思ってくれているんだ。 ○ おうちの人からもらった手紙を思い出したよ。 ○ 自分は、とっても大切にされているんだな。 ○ 大切な人を笑顔にできるような人になりたいな。	◎ 男に対する木の愛情と同じ愛情を感じとることができる写真を提示し、自分の大切な人との関係に目を向けさせる。 ◎ 宿泊体験活動時の保護者からの手紙を読んでいる写真を提示することで、自分に対する保護者の愛情に目を向けさせる。 ● 保護者の手紙に対する返事や導入で書いた大切な人へメッセージを書くことで、自分に向けられた愛情や自分の愛情についての気づきを深める。
4　教師の話を聞く ・ 自己肯定感の高まり		